

第3 総合領域の結果

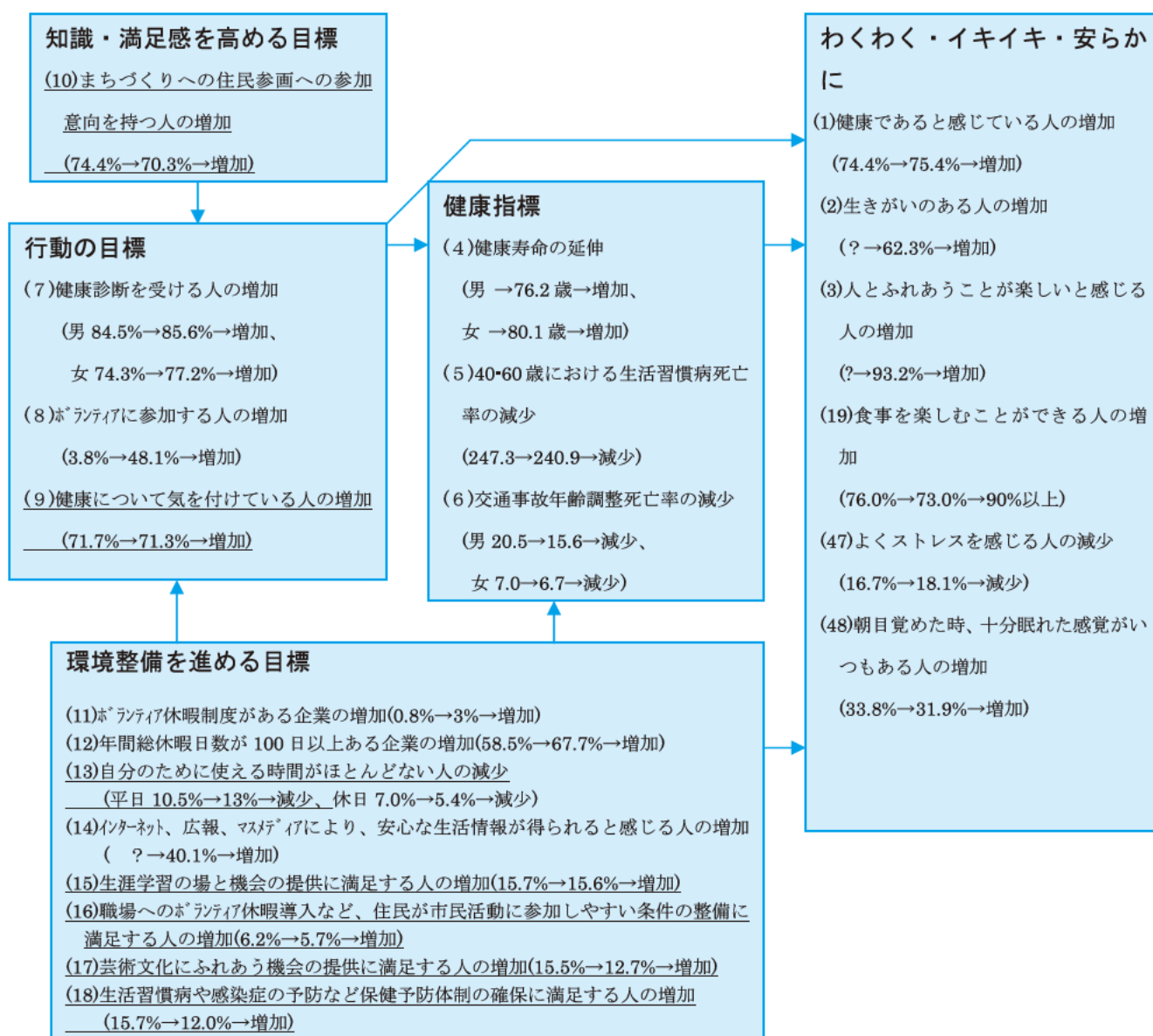
1 「総合」領域

(1) 総合領域について

「ヘルシーピープルみえ・21」では「健康日本21」で示された9領域に加え、「総合領域」を設定しています。それは、健康づくりは個人の努力もさることながら、それらを支える環境整備を充実し、個人の努力を社会全体が支援していく環境づくりが大切だと考えているからです。

総合領域の1つ1つの指標を見ると、直接健康づくりに結びつかないように思える指標もありますが、総合領域は、個々の人のやりがいや、職場環境や、情報提供などを含めた社会全体の活力向上という環境整備を行う領域です。

(2) 指標体系



※1 表中の()内の数値については、(1999年値→現状値→目標値)を現します。

※2 表中の下線が引かれた指標は1999年の値から後退した項目です。

(3) 資料の状況及び課題

- ・総合領域に関する指標は 18 指標 22 項目ありますが、中間評価では不明の項目 5 項目を除く 17 項目中 10 項目で目標を達成しています。また、7 項目で悪化が見られます。
- ・「イキイキわくわく安らかに」指標である「健康と感じている人」の数値が増加しています。
- ・生活習慣病や交通事故の年齢調整死亡率など健康に関する指標が改善しています。
- ・「健康に気をつけている人」の数値が減少しています。
- ・「自分のための時間の確保」や生き甲斐に関する項目、生活習慣病や感染症の予防に満足する人の数という項目で数値が悪化しています。

(4) 指標に影響を及ぼした社会環境変化

- ・健康日本 21 の実施
- ・健康増進法の施行
- ・健康ブーム
- ・健康に関する情報の氾濫

(5) 三重県の取組

ア. ネットワークづくり

- ・「ヘルシーピープルみえ・21」の年次報告書作成に様々な関係団体が参加しました。
- ・保健福祉部ごとにそれぞれの地域でネットワークを構築しました。
- ・三重県公衆衛生審議会及び部会を開催しました。

イ. 人材育成

- ・市町村職員や関係職員を対象とした研修会を開催しました。
- ・食育ボランティアやこころのリスナーやリスナー指導者を育成しました。

ウ. 啓発

- ・新聞、ラジオ、ホームページなどをつうじて啓発を行いました。

エ. 環境整備

- ・「ヘルシーピープルみえ・21」の策定
- ・「三重県健康づくり推進条例」の策定

(6) 市町村の取組

- ・健康診断及び健診結果を基にした健康教育の実施
- ・市町村健康づくり計画の策定
- ・産業保健との連携取組の実施
- ・健康づくりに関する啓発（イベント、チラシ配布、研修会等）の実施

(7) 企業、NPO等の取組

- ・トータルヘルスプロモーションによる健康づくりへの取り組み
- ・関係団体による、それぞれの業務特性を活かした健康づくりへの取り組み

総合領域の指標一覧

No	目標	1999 年値	目標値	現状値 (年)	達成状況
<u>1</u>	健康であると感じている人の増加(割合)	74.4%	増加	75.4% (2004)	◎
<u>2</u>	生きがいのある人の増加(割合)	—	増加	62.3% (2004)	—
<u>3</u>	人とふれあうことが楽しいと感じる人の増加(割合)	—	増加	93.2% (2004)	—
4	健康寿命の延伸(男)	—	増加	76.2 歳 (2003)	—
	健康寿命の延伸(女)	—	増加	80.1 歳 (2003)	—
5	40-60 歳における生活習慣病死亡率の減少	247.3	減少	240.9 (2002)	◎
6	交通事故年齢調整死亡率の減少(男)	20.5	減少	15.6 (2003)	◎
	交通事故年齢調整死亡率の減少(女)	7	減少	6.7 (2003)	◎
<u>7</u>	健康診断を受ける人の増加(男)(割合)	84.5%	増加	85.6% (2004)	◎
	健康診断を受ける人の増加(女)(割合)	74.3%	増加	77.2% (2004)	◎
<u>8</u>	ボランティアに参加する人の増加(割合)	3.8%	増加	48.1% (2004)	◎
<u>9</u>	健康について気をつけている人の増加(割合)	71.7%	増加	71.3% (2004)	×
<u>10</u>	まちづくりへの住民参画への参加意向を持つ人の増加(割合)	74.4%	増加	70.3% (2004)	×
11	ボランティア休暇制度のある企業の増加(割合)	0.8%	増加	3% (2003)	◎
12	年間総休日数が 100 日以上ある企業の増加(割合)	58.5%	増加	67.7% (2003)	◎
13	自分のために使える時間がほとんどない人の減少(平日)(割合)	10.5%	減少	13.0% (2003)	×
	自分のために使える時間がほとんどない人の減少(休日)(割合)	7.0%	減少	5.4% (2003)	◎
<u>14</u>	インターネット、広報、マスメディアにより、安心な生活情報が得られると感じる人の増加(割合)	—	増加	40.1% (2004)	—
15	生涯学習の場と機会の提供に満足する人の増加(割合)	15.7%	増加	15.6% (2003)	×
16	職場へのボランティア休暇の導入など、住民が市民活動に参加しやすい条件の整備に満足する人の増加(割合)	6.2%	増加	5.7% (2003)	×
17	芸術文化にふれあう機会の提供に満足する人の増加(割合)	15.5%	増加	12.7% (2003)	×
18	生活習慣病や感染症の予防など保健予防体制の確保に満足する人の増加(割合)	15.7%	増加	12.0% (2003)	×

※ 達成状況欄の各記号は、◎：達成済、○：前進、—：不明、×：後退、をあらわします。

※ Noに下線が引かれている指標は、2004 年実施の県民健康意識調査から把握したデータです。